

経営改善・業務効率化、リスクマネジメント、医療の質向上などのセッションに一般演題として22演題の発表が行われ、様々な職種の方々の間で活発な意見交換・交流が行われました。

最後に、多くの方々のご協力により本学術集会在盛会のうちに終了できましたことを深く感謝申し上げ、開催報告といたします。

## 第12回三重県支部学術集会

学術集会会長：市立四日市病院副院長 金城昌明



会場風景

第12回日本医療マネジメント学会三重県支部学術集会在2018年10月20日(土)に国立病院機構三重中央医療センター、研修棟会議室において開催されました。今回のメインテーマは「チーム医療としての医療安全」で市立四日市病院、金城昌明先生を学術集会会長として開催されています。当日は県内の主だった医療機関から106名の参加があり盛況でした。一般演題ではメインテーマに関連した医療安全、チーム医療をはじめ、退院支援や在宅医療などに関する多くの演題が発表されました。特別講演は近畿大学医学部附属病院、安全管理部・医療安全対策室、近畿大学医学部血液・膠原病内科教授 辰巳陽一先生による「ノンテクニカルスキルはチーム医療の処方箋－悪の組織をめざして－」の講演が行われ、チームで取り組む医療安全をチームステップスの手法を取り入れ、実践されている状況をお話いただき参加者は興味深く聴き入っていました。最後に本学術集会在盛会のうちに終了できましたことを、ご協力いただきました関係各位に御礼申し上げます。

## 第14回愛知県支部学術集会

学術集会会長：名古屋第二赤十字病院副院長 野口善令

2018年11月10日(土)に愛知県名古屋市のナディアパークデザインホールにて第14回愛知県支部学術集会在開催し、約300名のご参加をいただきました。

今回は「医療現場に活かすコンフリクトマネジメント」をメインテーマに掲げ、ランチョンセミナーとして中京大学法科大学院教授の稲葉一人先生より「医療マネジメントの手段としての臨床倫理コンサルテーション

という試み」と題してご講演をいただきました。

特別講演では、統合的心理療法研究所 (IPI) 顧問

の平木典子先生より「医療マネジメントに活かすアサーション～気持ちよく葛藤につきあうために～」と題してご講演をいただきました。

そのほか、一般演題では、臨床倫理、チーム医療、患者支援、医療安全、医療の質の向上といったテーマで10題の演題が寄せられ、各病院の取り組みをご発表いただきました。

最後に、本学術集会開催にあたり、ご支援とご協力をいただきました皆様に心より感謝を申し上げます。

## 第9回愛媛県支部学術集会

学術集会会長：一般財団法人積善会十全総合病院院長 中村 寿

2018年11月23日(金：勤労感謝の日)、十全総合病院において第9回日本医療マネジメント学会愛媛県支部学術集会在開催されました。

『患者と職員を守る安心安全な病院づくり～医療事故0(ゼロ)を目指して～』をテーマに掲げ、県内各地から255名の参加をいただきました。今回は特別講師に坂本すが先生をお迎えし、「クレーム対応と看護管理」のご講演をいただきました。また、これに引き続き「患者クレームへの対応」のシンポジウムを開催し、坂本先生にコメンテーターをお願いしました。このクレーム対応の企画には本会終了後に多くの好評をいただきました。

一般演題は午前午後の8セッションで31演題の発表があり、愛媛県下の多くの病院の取り組みが紹介され活発な討論が行われました。シンポジウムの4演題を含め、発表内容のクオリティが年々高まっており、



会場風景



会場風景